

# 運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

2020年7月13日

近江タクシー株式会社

近江タクシー株式会社は、西武グループグループビジョンおよびスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ」を実現すべく、「安全・安心・快適」を柱として、社員全員が一丸となって輸送の安全に取り組んでまいります。そのためにも社員の安全意識向上と安全教育の実施及びコンプライアンスを徹底し、輸送の安全確保に関して以下の取り組みを実施してまいります。

## 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

---

代表取締役および役員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努め、輸送の安全確保に主導的な役割を果たしてまいります。

また、現場の声に耳を傾け、現場職員とともに輸送の安全確保に一丸となって取り組んでまいります。

輸送の安全に関する計画および実施について、策定(Plan)・実行(Do)・チェック(Check)・改善(Act)のサイクルを効果的に循環させることにより、輸送の安全性が向上できるよう、効果的な施策を実施し、社員全員が輸送の安全を念頭に置いて業務の遂行に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表致します。

## 2. 輸送の安全に関する目標およびその達成状況

---

《2020年度目標》

- (1)重大事故 : 0件
- (2)有責事故 発生件数 : 前年比30%減
  - ①後退事故 : 前年比50%減
  - ②歩行者・二輪車との事故 : 前年比50%減
  - ③交差点・横断歩道上での事故 : 前年比50%減
- (3)飲酒運転の根絶(飲酒検知事案の発生件数) : 0件
- (4)運転中の携帯電話取扱いの根絶
  - 運転中の携帯電話取扱い事案の発生件数 : 0件
- (5)労働災害・通勤途上災害の防止 : 0件

≪2019年度達成状況≫

【2019年度目標】

- (1)重大事故 : 0件
- (2)有責事故 : 前年比30%減
  - ①後退事故 : 前年比50%減
  - ②歩行者・二輪車との事故 : 0件
  - ③交差点・横断歩道上での事故 : 0件
- (3)飲酒運転の根絶 : 0件
- (4)運転中の携帯電話取扱い(私用携帯電話の車内持込禁止) : 0件

【2019年度実績】

- (1)重大事故 : 0件
- (2)有責事故 : 前年比17%減
  - ①後退事故 : 前年比2%減
  - ②歩行者・二輪車との事故 : 10件
  - ③交差点・横断歩道上での事故 : 23件
- (3)飲酒運転の根絶(出庫前の飲酒検知事案の発生件数) : 2件
- (4)運転中の携帯電話取扱い(私用携帯電話の車内持込禁止) : 2件

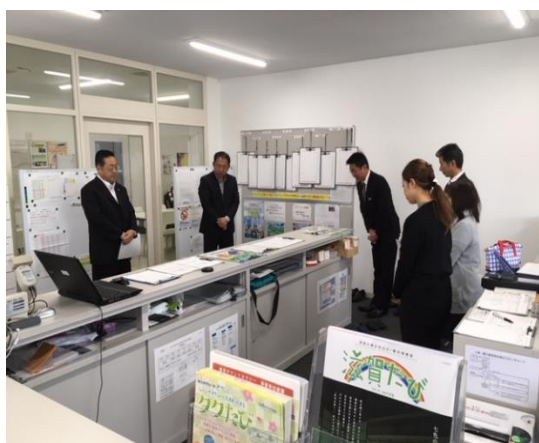
### 3. 輸送の安全のため講じた措置および講じようとする措置

---

≪2019年度実施状況≫

(1)代表取締役および安全統括管理者による事業所巡視

各種運動期間(全国交通安全運動(春・秋)、夏・年末の交通安全県民運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検および年頭)に合わせ、代表取締役および安全統括管理者による事業所巡視を実施し、乗務員・事務員に対して訓示を行いました。



【写真】代表取締役巡視



【写真】安全統括管理者巡視

## (2)運行 CS 会議の開催

毎月、安全統括管理者および所長・統括運行管理者が出席し、安全・サービスに関する取り組み状況や計画を報告し、輸送の安全およびサービス向上を図りました。また事故の分析・再発防止を検討し、事故防止を図りました。

## (3)安全サービス推進委員会の開催

営業所毎にSS(Safety・Service)サークル(1班7～10名程度)を編成し、班長・副班長を選出して、四半期ごとに小集団活動を行いました。

また各営業所のSS会長(乗務員代表)と現場管理者、安全統括管理者、本社関係者が出席する会議を年に4回開催し、四半期毎のSS推進活動にかかるPDCAサイクルの実施状況について、意見交換や情報共有をおこない、安全意識の高揚を図りました。また、本会議で出た意見について、各営業所のSS班長会議を通じて、各SSサークルの活動に反映しました。

## (4)デジタルタコグラフチェック

全車両に搭載の「デジタルタコグラフ」から出力される運転行動に関するデータ(速度・急発進・急減速)を集積・解析を行い、個々の運転行動を数値データとして把握し、安全指導を実施しました。

## (5)ヒヤリハット情報の活用、危険予知訓練(KYK)

各営業所のSSサークル(小集団活動)において、ヒヤリハット情報を収集し、分析した傾向と対策を乗務員教育に活用しました。また営業所全体で危険個所の洗い出しを行い、点呼時に注意喚起を行うとともに掲示板に掲示し事故の未然防止に努めました。

## (6)ドライブレコーダー情報の活用

事故防止の取り組みと接遇の向上を目的とし、全車両に搭載しているドライブレコーダー(常時録画型)の映像を定期的に確認し、全乗務員に対し安全面・接遇面での教育を行いました。

## (7)適性診断の受診

独立行政法人自動車事故対策機構が行う適性診断を受診し、受診結果を受けて運行管理者が受診者に対して個人指導を行い事故未然防止に役立てました。

- ①初任診断・・・乗務員選任前に受診
- ②一般診断・・・3年毎に受診
- ③適齢診断・・・安全管理規程のとおり(62、65、68歳時以降は毎年受診)

## (8)健康診断の受診

年2回(春・秋)の定期健康診断を実施して、タクシー業務に携わる全従業員が受診しました。産業医や近江鉄道(株)健康管理室の保健師から健康管理指導を受け、要医師指導者には医療機関の受診を義務付け、健康管理の徹底を行いました。

#### (9)睡眠時無呼吸症候群

全乗務員を対象に睡眠時無呼吸症候群(SAS)の簡易検査を実施し、その結果により医療機関での受診を徹底しています。SASに起因する様々な健康障害や健康起因事故の防止に努めています。

#### (10)脳ドックの受診

運行中乗務員の脳血管障害による健康起因事故の防止、および健康管理の観点から、満34歳、39歳、44歳、49歳、54歳、59歳、64歳、69歳の乗務員を対象に脳ドックの受診を実施しました。

#### (11)冬季装備品の購入と実技研修の実施

冬季の安全輸送のためスタッドレスタイヤおよびチェーン、スコップを購入しました。また、適切な装着が出来るよう実技研修を行いました。

#### (12)無事故表彰(個人別・営業所別)

乗務員の安全運転意識の高揚と自己管理による安全運転の実践で交通事故の未然防止を図ることを目的に、表彰を行いました。



【写真】無事故表彰式

#### (13)安全に関する独自の運動

毎月、事故防止、安全・サービス向上を目的に、各運動の日を定め実施しました。

- ①安全・サービス最重要日…毎月18日
- ②バック事故防止強化日…毎月9・19・29日
- ③安全・サービス強化日…毎月1日

#### 《2020年度実施計画》

##### (1)運行管理計画

「2020年度 輸送の安全に関する計画」のとおり

## 4. 輸送の安全にかかわる情報の伝達体制その他の組織体制

---

「安全管理規程」参照

## 5. 輸送の安全にかかわる教育および研修の実施状況

---

(1)安全講習(安全運転技能競技会予選)

実施 2019年4月～2019年9月

(2)安全運転技能競技会本選

実施 2019年12月8日

(3)その他、乗務員・運行管理者等に対して、以下の教育および研修を実施しました。

- 新入乗務員研修
- 若年乗務員研修(入社1年次研修、入社3年次研修)
- 事故再発防止研修
- 後退事故惹起者研修
- 複数回事故惹起者研修
- 教習所講習(初任運転者講習・高齢者運転者講習・事故惹起者講習)
- 接遇研修(乗務員・配車係員・事務員)
- 長欠乗務員への乗務復帰前研修
- ジャンボタクシー乗務員選任研修
- 中型バス乗務員研修(新任研修、習熟研修、貸切高速研修)
- 点呼研修(全点呼執行者対象)
- 運行管理に関する模擬監査(近江タクシー(株)業務部安全サービス指導課により実施)
- 冬季装備品装着研修
- 街頭・ターミナル指導
- 運行管理者(一般・基礎)講習、整備管理者選任後研修
- 配車係員ミーティング



【写真】複数回事故惹起者研修



【写真】点呼研修

## 6. 輸送の安全にかかわる内部監査について

2019年8月～9月に近江鉄道(株)倫理・内部統制部監査課により実施されました。

## 7. 一般乗用・乗合・貸切旅客自動車運送事業について(2020年4月1日現在)

### (1) 運転者に係る情報

- ・正規雇用運転者数 : 125名(うち貸切14名)
- ・正規雇用以外運転者数 : 122名(うち貸切15名)

### (2) 運行管理者及び整備管理者に係る情報

- ・運行管理者数 : 26名(うち貸切12名)
- ・運行管理補助者数 : 56名(うち貸切36名)
- ・整備管理者数 : 7名(うち貸切3名)

### (3) 事業用自動車に係る情報

- ・一般乗用 : 332両(うち特定大型15両)
- ・一般乗合 : 1両
- ・一般貸切 : 15両(中型7両、小型8両)

## 8. 安全統括管理者に係る情報

取締役業務部長 辰野 晃三

## 9. 安全管理規程

「安全管理規程」参照

## 10. 安全にかかわる投資について

近江タクシー株式会社では安全性の向上や事故防止、防犯およびサービスの向上のため全ての車両にドライブレコーダー及び車内防犯カメラを設置しています。2019年度につきましても、新たに導入した貸切バス6両にドライブレコーダーの取り付けをしました。

記録された映像および音声に関しては法令に定められている以外、第三者に提供することは一切ございません。個人情報の取り扱いに関しては関係法令および「近江鉄道グループ各社個人情報保護方針」を遵守し、厳格な取扱をしております。

以上